

過去にご献体いただいた方のご遺族の方へ
形成再建外科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2020年8月31日

「**献体を用いた鼻孔底形態と組織構造の研究**」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	
研究課題名	献体を用いた鼻孔底形態と組織構造の研究
所属(診療科等)	信州大学医学部 形成再建外科
研究責任者(職名)	高清水一慶(助教(特定雇用))
研究実施期間	倫理委員会承認日～2025年3月31日
研究の意義、目的	日本人における鼻孔底形態とその組織学的性質を明らかにすることを目的とした研究で、口唇口蓋裂の手術をよりよくすることに貢献すると考えられます。
対象者	倫理委員会承認日から2025年3月の期間に信州大学医学部医学科の解剖実習授業に供した御遺体
利用する診療記録／検体	死亡時年齢、性別/連続した上口唇から鼻孔底を有する組織
研究方法	献体より上口唇から鼻孔底にかけての組織を採取し、組織学的解析を行います。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 高清水一慶(形成再建外科・助教(特定雇用)) 電話: 0263-37-2833

献体より採取した検体を研究、調査、集計します。

当院外へお名前や個人情報がでることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご家族の記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。